



認知症に関する 絵本と漫画



◇ 『わすれないでね ずっとだいすき』

ジーン・ウィリス／文 前田まゆみ／訳
ラケル・カタリナ／絵 寛裕介／監修
小学館

認知症の祖母の家を訪ねる孫の心温まるお話です。認知症の家族の実話にもとづく絵本です。

◇ 『おしえてくれる？わたしのなまえ』

ナイジェル・グレイ／文
ベサン・ウェルビー／絵
もりうちすみこ／訳 ゴブリン書房

記憶をなくしていくおばあさんととなりに住む少女のあたたかな交流を描いた絵本です。優しい水彩の絵が心を和ませてくれます。

◇ 『マンガぼけ日和』

矢部太郎／著 長谷川嘉哉／原案
かんき出版

認知症患者と家族の日常が、それぞれの時期の変化と対応法を交え、あたたかなまなざしで描かれています。認知症専門医による「ボケ日和」を漫画化。



※紹介している本は、伊勢図書館
または小俣図書館で貸出ができます。
貸出中の場合は予約ができます。

認知症に関する 正しい知識と治療・ケア



◇ 『認知症ってそもそも何ですか？』

現役の認知症専門医が答える』

朝田隆／著 Gakken

認知症の基礎知識から、症状、予防法、家族の心のケアまで、さまざまな疑問や不安に、対話形式で専門医が答えてくれます。

◇ 『家族が認知症になった時の 接し方・介護・頼れるサービス』

家族と笑顔でいるために知っておきたい大切なこと』

内門大丈／監修 ナツメ社

認知症になった家族を介護する人に向けた多岐にわたる情報を図や漫画でわかりやすく紹介しています。認知症を包括的に理解できる1冊です。